

やすらぎ便利さ創造学部 「自主防災意識の向上」について

①参加しやすい環境について
<ul style="list-style-type: none"><li>・若い人が参加してほしい（自主防災組織自体高齢化であり世代交代が必要）</li><li>・自主防災組織の組織づくりを進め、防災意識を高めることで、参加につながるのではない</li><li>・イベントや学校行事も多くあり、日程や時間帯の調整が必要</li><li>・地域協議会など様々な組織に働きかけ、参加者の確保に向けた取り組みが必要</li><li>・SNSなどを活用をして参加募集を行う</li></ul>
②プログラム内容について
<ul style="list-style-type: none"><li>・災害に備えた心構えや必要な準備、災害発生時やライフラインが止まった時の避難方法</li><li>・地震や強風体験</li><li>・過去の町内や近隣市町で発生した災害について知る</li><li>・自分の命は自分で守るということを町民自身が考える内容</li><li>・救急救命やAEDの使用方法</li><li>・防災教育（避難場所や避難経路）</li><li>・避難グッズの活用方法について</li><li>・地域における危険箇所や避難体制の確認（高齢者への対応など）</li><li>・対象者（参加してほしい人）を明確にして、それに応じたプログラム内容にしていく</li></ul>
③その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・自主防災組織はあるが、活動がマンネリ化し、高齢者が多いなど活動が広がらず、活発な取り組みにつながっていない</li><li>・行政から防災について話をしてもらったが自主防災組織の設立までに至っていない</li><li>・これまでそこまで大きな災害が発生していないので、防災への危機意識は薄いと感じる</li><li>・数年の取り組みだけではリーダーの育成は難しいのではないかと</li><li>・行政主導でプログラムありきの感じがする</li><li>・協働のイメージと結びつきにくい</li></ul>